

令和2年度 みどり「ひと・まち」スクール実施記録

第4講 夢プラン作成にむけて Part 1

講師及び担当：竹迫講師、神田、田中

日 時：令和2年10月3日（土） 場所：緑区市民活動支援センター（みどりーむ）

参加者：6期生（8）、講師、コーディネーター、ナビゲーター（5）サブナビゲーター（3）、都筑区（1）、副区長、事務局（3） 合計23人

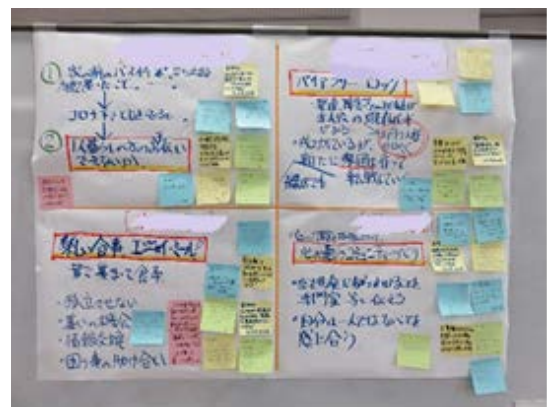
Zoom参加：5人（修了生、他区より）

●学習目標

1. 受講者それぞれが何をやりたいと思っているのかにじっくり耳を傾け、それぞれの「夢プラン」作成にむけた情報交換を行う。
2. 自分がやりたいことを他者にもわかりやすく伝えるための設計書（夢プラン）の作り方、表現の仕方を学ぶ。

●内容

1. オープニングタイム
 - ・本日の趣旨、ファシリテータの紹介&アイスブレイク（誰でもピカソ）
2. 夢プランにむけての芽だし&企画づくり（「私のやりたいこと」、「やりたいことは地域のどんな課題解決につながるのか」）
 - ・2人一組になってお題についておしゃべりタイム。
 - ・A3の紙に「やりたいこと」、「地域の課題」を書き、ひとり2分で発表した。
 - ・発表内容に対して、受講生、修了生、ナビゲーター、講師が感想やアドバイス等のコメントを書き、掲示した。
 - ・骨太シートの「ビジョン」「目的」「対象」「到達目標」「連絡先」を考えた。。
3. クロージングタイム
 - ・コーディネーター、講師からのコメントが寄せられた。
 - ・次回までに、夢プランを実現するための社会資源が周りにあるか、必要か調べてくることが宿題となった。



6期生の「学びのふりかえり」より（抜粋）



- 6期生の参加者、それぞれのやりたいこと想いを具体的に聞いたこと。講師、コーディネーターのコメントも参考になりました。
- ひとりでは決してできないことでも繋がり、共有することによって少しずつ具体化されていくのだと実感しているところです。
- 講師から無限にでてくるアドバイス、いずれもレベルが高く、実効性やその内容に感服しました、感謝いたします。
- 共感を得るためには、伝え方が大切というお話が印象に残っています。
- いろいろな方のやりたいこと、やってみたいことを聞きました。考えがみんなそれぞれであることも含めて、いいことを聞いたと思います。
- 講師の方々のコメントにはきょうのプランニングのためだけでなく、日頃の仕事をする上でとても役立つ気づきがたくさんあった。
- 6期生とナビゲーターのみなさんとのコミュニケーションの場となったのでよかったです。
- 私の家の近くで同じ考えの人を探すことができればいいと思いました。
- きょう、多くの方々から直接、自分のプランに関するお話やアドバイスを伺うことができとても楽しかったです。
- 自分で何となく考えていたことを実際に「文字」にし、さらに言葉（発表）にすることで、他の方からの反応があり、グッと現実味をおびてきたと感じました。



コメント欄（担当ナビゲーター：神田）

- 第1講から第3講までは講義を聞いて理解する受身の講座でしたが、第4講からは各自の夢プランを骨太シートに整理し、発表したり、感想やアドバイスを付箋に書いたりするワークショップを行いました。
- 講座時間が従来の半分程度と短いため、第4講にむけての宿題として骨太シートのビジョン、目的を考えてくるようお願いしましたが、受講生の皆さんはきちんと整理してきた様子で、発表もスムーズ、宿題の効果が有ったと思いました。
- 受講生が発表し、コーディネーターが発表内容のキーワードを模造紙へ書き込み、受講生を中心に感想やアドバイスを付箋に書き、模造紙に貼り付けましたが、どの発表にも多くの付箋がありました。他人の発表に対しても興味を持ち、一緒に考える姿勢がすばらしいと思いました。
- 従来の食事タイムがなく、受講生間、受講生と講師・ナビゲーター間のコミュニケーションの場が少なかったのが残念でした。
- ズームによるオンライン講座が毎回レベルアップして、実用に耐えうるレベルになったと思いました。
- 講座時間が短かったため、希望者のみ10月24日に補講を開催しましたが、5名が参加しました。今年の受講生は意識が高く、レベルも高いと感じました。
- イッツコム取材があり、講座の様子や受講生等のインタビューの撮影が有りました。